

静岡県熱海市における
令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について令和3年7月20日
防衛省

概要	○ 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。 ○ 7月20日（火）現在、自衛隊は、<u>約770名</u>の態勢をもって、被災現場に約340名、重機16両を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。
活動実績	人命救助活動等【7月3日～19日】 ○ 被災現場における活動人員等：<u>延べ約6,730名</u> ○ 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等 ○ 使用装備：重機16両、ヘリ（UH-1）2機、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭（最大時）等 ○ 救助実績：<u>14名</u>（うち10名について警察により死亡を確認） ○ 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、<u>計約1,020m</u>を啓開
本日（20日）の活動	引き続き、以下の活動等を実施 1 人命救助活動 ○ 0600以降、<u>陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）</u>等の人員<u>約330名</u>により、重機16両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、小型ドーザ×11）を用いた人命救助活動等を実施。 2 連絡員の派遣 静岡県庁に2名、熱海市役所に2名、伊豆山現地本部に<u>3名</u>の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



搜索活動(第32普通科連隊)



搜索活動(第34普通科連隊)



土砂の除去(第34普通科連隊)



道路整備(第1施設大隊)